

# デジタル粉じん計（レーザー式） 使用マニュアル



山梨産業保健推進センター

【各部の名称】



【本器上部】

〔電源〕ボタン

〔開始/停止〕  
ボタン

〔時間設定〕ボタン

〔質量濃度変換〕ボタン

測定・感度合わせ切替えノブ



【左側面】



RS232C コネクタ

アナログ出力コネクタ

外部電源接続コネクタ

## 測定前の準備

### 1.バックグラウンド(BG )の測定

測定したBGは、記憶装置に記憶され、粉じん測定値から自動的に減じられます。  
記録したBGは、電源を切っても消去されないので測定毎に必ずBGを記録させて下さい。

〔電源〕ボタンを押し、電源を入れます。

採気口のカバーを上を持ち上げ、採気口を閉じます。  
そのまま約1分間放置します。

〔時間設定〕ボタンを何回か押して、設定を〔BG〕にします。

〔開始/停止〕ボタンを1回押します。  
バックグラウンド(BG)の測定を開始します。(測定時間 約 6秒間)

### 2.感度の自動調整

感度の自動調整は必ずBG測定後に実施して下さい。

電源が入っているか、採気口カバーが閉じているかを確認します。

測定・感度合わせ切り替えノブを時計方向へ回して本体中へ押し入れ、  
散乱板を検出器内部に挿入します。

液晶画面に〔SPAN CHECK〕と表示が確認できたら、そのまま1分間放置します。

〔開始/停止〕ボタンを1回押します。  
散乱板の測定が開始されます。(約 1分間)

測定終了。  
測定・感度合わせ切り替えノブを手順 と逆方向へ回し、元に戻します。

## 粉じん測定

必ず、採気口が開いていることを確認してから測定を開始してください。

質量濃度換算を行う場合、ダウンタイム測定手順の前に質量濃度換算方法手順を行います。

### 1. ダウンタイム測定モード(測定時間の選択して測定)

〔時間設定〕ボタン押し、測定時間を選択します。  
選択時間は液晶画面左下に表示されます。

電源入力時は、1分間で選択されています。  
[ sec . 秒 / m i n . 分 ]

〔開始 / 停止〕ボタンを1回押すと測定が開始されます。  
測定中、〔開始 / 停止〕ボタンを押すと測定を中断します。

測定開始後は、測定残時間が画面に表示されます。

質量濃度換算手順を行った場合、測定後に〔質量濃度〕ボタンを押すと質量濃度変換します。  
再度、〔質量濃度〕ボタンを押すと元のデータに戻ります。

### 【質量濃度換算方法手順】

〔電源〕ボタンを押し、電源を切ります。

〔質量濃度〕ボタンを押しながら〔電源〕ボタンを押し、電源を入れます。

〔時間設定〕ボタンを何回か押し、〔K FACTOR〕を選択します。

〔K FACTOR〕以外の項目の数値は変更しないで下さい。

〔開始 / 停止〕ボタンを1回押します。

〔時間設定〕ボタンで〔K値〕の増減をします。  
(設定範囲は、01~99)

〔開始 / 停止〕ボタンを1回押します。

〔設定時間〕ボタンを押し、〔START〕を選択します。

〔開始 / 停止〕ボタンを押し、通常測定画面へ戻します。

〔電源〕ボタンを押し、電源を切ります。

〔電源〕ボタンを押し、再度、電源を入れます。

## 2. マニュアル測定モード(MANUAL)

〔時間設定〕ボタンを何回か押し、〔MANUAL〕にします。

〔開始 / 停止〕ボタンを1回押しと測定が開始されます。

測定開始後は、測定経過時間が画面に表示されます。

再度、〔開始 / 停止〕ボタンを押すと測定を終了します。

マニュアルモード測定では質量濃度換算は出来ません。

### 測定終了後

採気口のカバーを押して採気口を閉じ、5分程動作状態で放置します。

〔電源〕ボタンを押して電源を切ります。

乾電池を電池ケースから取り外します。

### 《このマニュアルを使用されます方へ》

- ・このマニュアルは、山梨産業保健推進センターの業務上での利用を目的として作成されたものです。
- ・その利用目的外での使用に対し、取扱上で発生することと異なる可能性がありますので予めご了承下さい。
- ・このマニュアルに関し、無断での二次使用はご遠慮いただきますようお願いいたします。